

# 編集後記

## 研究室短信

『社会学ジャーナル』46号を刊行することになりました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、今まで経験したことがないオンライン授業をまったなしで実施せざるをえませんでした。オンデマンド型の講義は、ていねいに講義の設計をしておく必要があり、学生にとってはわからない箇所を繰り返し視聴して確認できる等のメリットもあり、コロナ終息後も授業方法のひとつとして日常化する可能性が見えました。対面授業を拡大していくためにはいくつものハードルがありますが、はやく終息の方向性が見えることを願うばかりです。

大学院人文社会科学研究科国際公共政策専攻における博士論文（博乙：論文博士）の提出者と題目は以下の通りです。

五十嵐泰正「流動化する現代の都市の多様性——東京都台東区上野地区の事例から」

大学院人文社会科学研究科国際公共政策専攻における修士論文の提出者と題目は以下の通りです。

有須 元紀「流動化する会社共同体——就職活動過程における学生の「自己分析」記録から」

王 照明 「サード・プレイスとしてのオンラインバトルロイヤルゲーム——プレイヤーの相互作用に着目して」

TANG ZHIQI「子育てネットワークと育児サポートがもたらす在日中国人母親の育児ストレスへの影響」

趙 姜合美「現代中国における若い女性の＜「素顔」の不在＞——自撮りを事例として」

趙 天歌 「中国の団体養老方式を選んだ高齢者の生き方についての社会学研究——ライフコースの視点から」

万 宝路 「権威主義下の公共圏理論研究」

駱 星星 「新興チャイナタウン地域における日本人住民が持つ中国人との共生意識及びその規定要因に関する考察——川口市西川口を事例に」

WANG JIAXUAN「中国女性博士のスティグマ化現象に関する社会学的研究——インタビューとネットメディア報道の分析に基づく」

社会・国際学群社会学類社会学主専攻における卒業論文の題目は以下の通りです。

- 「日本社会におけるドローンの社会的受容促進のための社会学的考察」
- 「連帯感から見る自衛隊小集団と体育会部活動の類似及び相違」
- 「参加型ワークショップは過疎地域に何をもたらしたのか——徳島県神山町の住民参加型ワークショップの考察」
- 「家族神話の解体におけるアイデンティティ欲求のゆくえ」
- 「つながり消費の音楽ライブはどこへ向かうのか」
- 「教育機関としての大学における運動部活動の必要と矛盾」
- 「ラグビーワールドカップキャンプ地誘致は何を残したのか？」
- 「コロナ禍にみる家族の個人化」
- 「地元就職したい若者たち」
- 「京都の街にとっての学生寮」
- 「女子大学生における現在の身体性と高校時代のグループ間地位との関係」
- 「自傷行為の意味に関する自己物語論的分析——自傷行為者にとっての自傷行為と自己の存在証明」
- 「体罰を肯定するロジックはなぜ根強く残るのか？」
- 「表象の中の広島／呉・心象の中の広島／呉」
- 「ポピュラーソングにおける“反抗”の系譜」
- 「「女子マネ」からみるキャリア観とジェンダー規範」
- 「筑波研究学園都市はなぜ創造都市になれなかったのか」
- 「地下アイドルとファンをつなぐライブ空間の役割」
- 「音楽都市宣言のもたらす社会的影響は何か」
- 「北千住の空間的再編成」
- 「男性アイドルの「本当のファン」像は誰が作ったか？——ジャニオタのSNS利用から見るファンアイデンティ」
- 「現代日本における「ジャズ」の消費」
- 「成人向け百合漫画の社会学——「尊さ」という関係性を消費する男性たち」
- 「戦後映画に見る「戦争の記憶」——「日本のいちばん長い日」を中心に」
- 「ポストコロナ時代における学校の在り方」
- 「フリースクールにおける和みの紡ぎかた——笑いの相互行為分析」
- 「現代日本における学歴志向の論理と心理——合格体験記に見る中学受験への期待と中学受験からの獲得」
- 「若者はなぜK-POPを好むのか」
- 「運動部における女子マネージャーのジェンダー形成」

令和元年度社会学研究室の各教員の学類および大学院において開設した授業科

目は以下の通りです（社会学類／大学院人文社会科学研究群）。

- 全 教 員 = 社会学の最前線，卒業論文演習，卒業論文／社会学基礎理論 A，  
国際公共政策リサーチワークショップ A・B，国際公共政策プロ  
ジェクト演習 A・B
- 五十嵐泰正 = 地域社会学，社会学研究法 A，社会調査実習 II b／国際公共政策  
論，都市社会学，都市社会学演習，都市社会学特別演習 I・II
- ウラノ・エジソン = Public Policy，社会学演習 VIII b／国際公共政策論，国際社  
会政策論 A，国際社会政策論演習 A，国際社会政策論特別演習 A  
I・II（以上，社会学分野），地域調査法 I・II，ラテン・アメ  
リカ研究演習 A I・II，ラテン・アメリカ研究特別演習 A I・  
II（以上，地域研究分野）
- 奥山 敏雄 = 社会学基礎論，社会学研究法 B，社会学演習 II b／医療社会学 A，  
医療社会学演習 A，医療社会学特別演習 A I・II
- 葛山 泰央 = 知識社会学，社会学外書講読，社会学研究法 B，社会学演習 III b  
／社会意識論 A，社会意識論演習 A，社会意識論特別演習 A I・  
II
- 土井 隆義 = 逸脱行動論 - 犯罪社会学 II，社会学演習 VII b／社会病理学，社会  
病理学演習，社会病理学特別演習 I・II
- 野上 元 = メディアと情報化の社会学，社会学研究法 A，社会調査実習 I b  
／歴史社会学，歴史社会学演習，歴史社会学特別演習 I・II
- 黄 順姫 = 現代社会論，社会学演習 V b，ジェンダーとグローバル共生（全  
学共通，科目担当及びコーディネーター）／ジェンダー社会論，  
ジェンダー社会論演習，ジェンダー社会論特別演習 I・II（以上，  
大学院人文社会科学研究群），社会調査実習（以上，大学院教育  
研究科）
- 森 直人 = サバティカルのため開設授業科目なし／社会階層論 A，社会階層  
論演習，社会階層論特別演習 I・II（以上，大学院人文社会科学  
研究群），公民教育研究法 I・II（以上，大学院教育研究科）

このほか，他専攻にご所属の先生方（敬称略）により，学類共通科目として，  
以下の授業科目をご担当いただきました。

- 海後 宗男 = メディア・コミュニケーション論  
鴨志田公男 = ジャーナリズム特別演習  
清水 諭 = スポーツ社会学  
白戸健一郎 = 情報文化概論  
下竹 亮志 = スポーツ社会学

前川 啓治 = 文化・開発論

今年度非常勤講師として、以下の先生方（敬称略）にご出講いただきました。  
篤くお礼申し上げます。

樽川 典子 = ジェンダー社会論

知念 渉 = 社会階層論

[以上，社会学類]

樽川 典子 = 社会調査方法論 A，社会調査調査論演習 A

[以上，大学院人文社会科学研究群]

## 『社会学ジャーナル』投稿規定

〔2021年2月改正〕

- 1 筑波大学大学院人文社会科学研究科国際公共政策学位プログラム、国際公共政策専攻所属の教員及び大学院生等は、『社会学ジャーナル』（以下「本紀要」という。）に論文等を投稿することができる。大学院生等による投稿については、原則として、修士論文審査に合格していることを要件とする。
- 2 投稿される論文等は、その内容が他誌に掲載ないし投稿されておらず、剽窃・データのねつ造・改ざん・個人情報の不当な扱い等を含んでいないものとする。
- 3 投稿される論文等において、明白な権利侵害、現代日本の社会通念上、不適切と思われる表現については、特にそれが本文中で考察や分析の対象となっている場合を除き、あるいは事例研究中において情報提供者の発言をそのまま掲載する等の必然性がある場合を除き、それを避けなければならない。
- 4 本紀要に掲載された論文は、筑波大学電子図書館（つくばリポジトリ）において公開するものとする。
- 5 掲載原稿は、原著論文、総説、研究ノート、講義ノート、資料紹介、書評論文、書評とする。その他については、本紀要の編集委員会が決定する。
- 6 編集委員会は、国際公共政策学位プログラム、国際公共政策専攻所属の教員等に対して、論文その他の投稿を依頼することができる。
- 7 使用言語は、原則として、日本語又は英語とする。その他については、編集委員会が決定する。
- 8 外国語による執筆を希望する場合には、投稿者は、自己の責任において、当該言語を母国語とする者による言語上の校正を受けた上で、投稿することができる。
- 9 投稿原稿が日本語の場合には、欧文（英文）タイトルを付すること。
- 10 原著論文、総説、研究ノートについては、冒頭に英文の要約（200字程度）を含めること。
- 11 投稿原稿は完成原稿とし、編集委員会あてに電子ファイルを送信するとともに、研究倫理についての所定の様式誓約書を1部提出すること。
- 12 本紀要は、原著論文、総説、研究ノートについて査読を実施し、編集委員会はその結果をもとに審議し、掲載の可否を決定する。大学院生による投稿については、草稿が投稿に足る水準に達しているか否かを指導教員が確認し、所定の用紙に記入したうえで、投稿原稿に添えて期日までに編集委員会に提出する。
- 13 執筆者には論文等の抜刷を50部配布し、それ以上の抜き刷りを必要とする場合は、実費を徴収する。

その他不明な諸点については、下記の編集委員会にお問い合わせください

連絡先：『社会学ジャーナル』・編集委員会

筑波大学大学院人文社会科学研究所 社会学研究室

305-8571 茨城県つくば市天王台1丁目1-1

電話番号：029-853-4247 ファクス：029-853-4098

---

社会学ジャーナル

第46号

印刷発行 2021年3月31日

編集・発行 筑波大学社会学研究室

茨城県つくば市天王台1-1-1

TEL. 029-853-4247

印刷所 筑波印刷情報サービスセンター協同組合

TEL. 029-862-5027

---

Department of Sociology, The University of Tsukuba  
Ibaraki 305-8571, Japan

---